



発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
 電話 (018876) 代 2100 番 毎月 1日発行
 印刷所 小浜印刷所 電話 (018876) 2605 番 (1部5円)
 昭和37年12月5日第3種郵便物認可 郵便番号 018-17

町のおもな統計 (21)

最近の人口及び世帯数調

地区名	11月		12月		1月	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
五城目	8,731	1,924	8,754	1,927	8,766	1,924
馬場目	2,912	523	2,911	523	2,914	523
富津内	2,471	455	2,469	456	2,468	457
内川	1,933	384	1,938	385	1,935	385
大川	2,229	423	2,227	423	2,215	420
面湯	1,193	228	1,188	228	1,191	228
合計	19,469	3,937	19,487	3,942	19,469	3,937

・ 秋田県五城目町 ・

※町政と町民をむすぶ広報紙



第3回五城目町青年議会

写真は熱をこめて町の施策を述べる町長

このほど五連青では町議会形式で青年議会を開催、道路、都市計画、産業開発など町政全般にわたって熱心に学習し大きな成果をあげた。

＜3月のおもな行事＞

- 1日 町税完納強調月間 (1~31日)
- 2日 米生産調整部落座談会 (2月24日 ~ 3月3日)
- 5日 中学卒就業者激励会 第一会議室
- 10日 議会運営委員会
- 11日 町議会三月定例会 第一会議室
- 15日 家庭の日 16日 母子栄養推進協議会 第二会議室
- 21日 春分の日 23日 全町家庭教育研究集会 中公
- 31日 五城目町合併15周年記念祝賀会 午前10時町民ホール

農政のきびしさの中で
 農家は米価の据え置き、休耕による生産抑制、離農促進という環境のきびしさ……
 収穫を重労働でささえてきた農家のかたがたの胸の中には米づくりに対する不安があり、将来の豊作を期待し、それを素直に喜ばない現状となりました。
 しかし、米にまさる作物がない稲作を中上することは考えられない。そこで米づくりの近代化が今日ほど必要に迫られている時代はないだろう。
 町はもちろん政府、県はこの不安解消につとめ実のある農政を樹立してほしい。
 農家もまたきびしさを克服する意欲が必要でないでしょうか。転換機にある農家の方向を確め農業を近代的な企業に発展させるために、新しい時代の農業には超近代的なセンスが要求される。
 考えようによっては月ヘロケツトを発射させるより、多くの問題が山積している。大地に足を踏みしめ今後の農業はどうなるのかを考え決断することが大切であろう。
 苦しさに意欲を燃やすことが農政を動かすことを忘れず、お互い手をとりあってがんばろう
 税務課課長補佐 金野養威



住みよい町づくり

近代都市五城目を目標に

都市計画による

土地区画整理事業計画

最近本町中心部では核家族化による世帯数の増大とともに土地の利用状況が急激にその複雑さを加え無秩序なひろがりを見せるようになったので、道路の整備や公園緑地などの実現が大変重要になってきました。

そこで、明るい、住みよい、魅力ある町づくりの実現のための一つの手段として、土地区画整理事業がとりあげられようとしています。

土地区画整理と申しますと、田圃や、畑地の区画整理を想像しがちですが、このほかに都市計画区域内の土地について、整然とした市街をつくるための区画整理もあります。

市街をつくる区画整理は、交通衛生、防災などの観点から、健全な市街環境を整備し、宅地の利用増進をはかることが、第一の要件であり、この要件をみたすために道路、公園緑地、広場、駐車場などの都市施設を整備改善するものであります。

各宅地の形状は、建築物の形態や美観などに影響を与えるばかりでなく、宅地の利用度を決定する要素の一つでもあります。この宅地の形状を適正にするためには、宅地を囲む道路などの位置を整然としたものに変えなければならぬことは言うまでもありません。

一定地域の土地について、宅地の区画を適正にするとともに道路などの都市施設を新設し、改良することを一挙になし得ることが土

上)を組織し、施行する組合

(3) 公共団体(県、市町村)が施行する公共団体施行の方法

(4) 災害復旧(火災、震災)により建設大臣が知事または市町村長に施行される行政庁施行の方法

(5) 日本住宅公団により、新たな市街地を造成するために行なう住宅公団施行の方法。

公共減歩と

保留地減歩

土地区画整理事業には、公共減歩があります。新、増設される都市施設(公園、道路、駐車場など)土地の土地区画整理については、土地所有者の負担で行なわれます。これを公共減歩(公共用地減歩)と言ひ、原則としては無償で提供しなければなりません。

公共減歩は平均して一五%から二〇%に達するのが普通であります。この減歩に対して損失補償をしない理由は、土地区画整理によって宅地の利用の増進が図られ公共減歩以上に宅地の価格が高くなり、土地所有者などに損失を与えることにならないこと、宅地の利用増進のためには、都市施設の整備改善が不可欠の要素であるので、土地区画整理法においてもこれを認めているからであります。このように土地所有者から提供された公共減歩によって、用地が生み出され道路、公園、緑地など広範囲にわたる都市施設の完備がはじめて可能になります。

もし、これらの用地を全部買取するとすれば、町では財政上到底その負担にえられませぬ。

したがって、健全な市街地に必要な都市施設用地の獲得は望まれないこととなります。公共減歩による負担があれば、健全な市街地の発展が実現し、土地所有者に自然的に利益をもたらすことになるのであります。

また、土地区画整理事業のもう一つの特長は、保留地(事業費にあてるための土地)を定めて、これを事業費の財源にあてることのできる点です。

法にも、この区画整理事業に要する費用は、原則として施行者の負担とすることが規定されていますが、施行者はこの費用に充当するための一定の土地を換地(土地の権利によって最終的に権利者に配分する土地)として定め、保留地として定めることが出来ることと規定されています。

すなわち、土地区画整理の事業は、受益の範囲内で権利者の負担とすることができるのであって、施行者の負担を軽減し、健全な市街地の造成を推進し、大きな力を発揮することができるのであります。

一般に保留地減歩は五%から十%程度で、これらの保留地の処分による副産物として、学校などの公共施設の用地を確保したり、またはこの地区の開発のための諸施設や工場などを誘致することもできます。保留地の処分によつて、市街地化の促進がはかられ、このことはまた、関係者の受益の増進となつて返ってくるのであります。

町で施行する区画整理の事業計画

本町の現在の都市計画内人口は八千人となっておりますが、長期総合開発計画構想から見ますと都市内人口は二万人と想定されており

また、現在でも都市施設整備のたちおくれから、都市形態が複雑化し、郊外は無秩序に工場や、住宅が建てこんでいる現状からこれを放置することは無秩序な都市形態を助長し、都市の機能を失ってしまうこととなるので、今後の町づくりのために、飽土(上樋口字向川原)地区三〇(ヘクター)、羽黒前(字羽黒前)地区十二(ヘクター)、および里下(高崎字里下)地区十六(ヘクター)、雀館(高崎字雀館下川原)地区三十(ヘクター)の区画整理を計画しております。

飽土地区については、昭和四十四年から二カ年で調査し、事業計画をたて、昭和四十六年から五カ年計画で完成したい考えであります。

この地区には、幹線道路である中央線(警察署前一高崎)、向川駅前(矢場崎一五城目橋)および、本町広場などが含まれていて、本町発展の最大のネックが、この土地区画整理事業によつて解消されることにも、飽土地区の開発も急テン前に進むものと予想されます。羽黒前地区については、幹線道路山手線および、上町通線の拡充

第3回森山会

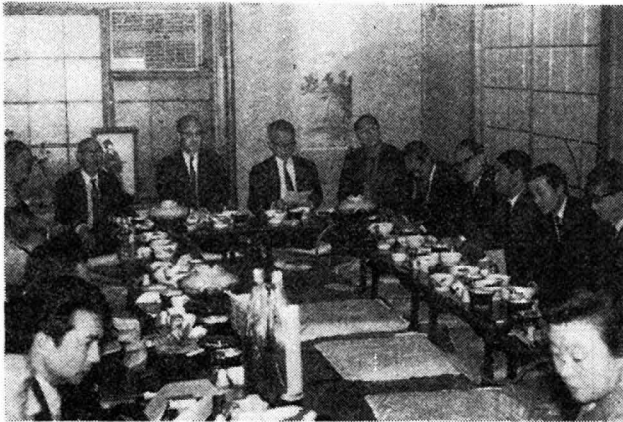
笹尾 森山 会長

五城目町の発展を願う

加賀谷 町長

上京する若い人の激励指導を

森山会(町出身在京者の会)では二月二十二日午後五時から都内目白の秋田料理「五城目」(昭辰町出身工藤イチ経営)で第三回目の定期総会を開催した。当日は会員二五人、来賓として加賀谷町長が出席した。



五城目高校にサンケイ写真ニュース掲示板を寄贈する

これはサンケイ新聞の内外通信網をはじめ、世界各国の代表通信社、新聞社が決定的瞬間をとらえた傑作写真掲示板です。毎週四枚の写真をも三カ年間で送られるものです。

▽善意の箱

参加したかたがたが、思い思いのお金を入れ、郷土へ役立てるといふもので、このたびは現金一七、五〇〇円が集り町長を通じ五城目中へ贈られた。一中ではご厚志を感謝し協議の結果、各種競技大会などで、意気

を高揚するふじ郷を高く購入することにした。事業計画の審議、役員改選が行なわれた内容は次のとおり

町長を迎え郷土を語りあう森山会

会は全員で町民の歌を合唱のあと、原田広治幹事が議長となり、事業計画の審議、役員改選が行なわれた内容は次のとおり

▽事業計画

▽役員改選

会長に笹尾克己氏、幹事に小浜

徳太郎、原田広治の両氏が満場一致で再選された。

このあと会長の挨拶、加賀谷町長の祝辞があり自己紹介のあと懇親会にはいり郷土の近況、在京者の消息など語りあい十時散会した。

笹尾会長の挨拶要旨

森山会は人口老若千人、世界一のマンモス都市東京にあって、五城目町出身者が昨年より今年と、輪をひろげて行くことはいよいよ明治、大正、昭和と顔をそろえ

明治生まれの私などはふるさとがなつかしく、帰郷のとき大久保をすぎ車窓から森山が見えたと、新婚当時のようにそわそわするようになる。

今日は加賀谷町長さんを中心としてふるさとの話に花をさかせるとともに、五城目町の発展を願う心を感じる存分語り合いたい。

加賀谷町長祝辞要旨

会長さんを始めみなさまが大変町のことを心配して下さることを知り、一層町のために渾身努力しなければならぬことを深く感じました。

湖東部の中心町として名実ともに充実した町づくりを努力したい。毎年五高の生徒が三百人ぐら

卒業し、二百人は東京を中心としたこの地域にきておるが、その中で帰って来るかとも最近相目につく状態である。

私はこうした面において、みなさまがたいいろいろなお願いしなければならない仕事もあっておるわけに純心な郷土の青年がでて来た場合この組織を通じて、激励指導をしていただきたいのであります。最近五城目も杉沢発電所の電力

が秋田県一円にまた、飯田川町から入って阿仁に至る道路の国道外格など明るい芽がでてきており、町も再認識されつつある。今後みなさまにもいろいろなお力添えをお願い町の発展をはかっていきたい。

出席役員名(掲載もれの方は、お許しください。)

▽世田谷区大原一―二二―七

▽笹尾克己

▽太田区仲池上二丁目二―二二

▽原田広治

▽横浜市西区浅間町三―二四七

▽小浜徳太郎

▽川崎市上九ツ山王町一―一五二

▽五原貞藏

▽川崎市大師西町七九 菅沢吉

▽川崎市生田月見台一九九七

菅沢水之助

▽新宿区下落合一―一五一六

▽新藤イチ

▽練馬区上石神井一―一八二

▽近藤良悦

▽杉並区和泉一―三五―七

▽小林彦司郎

▽町田市玉川学園七丁目一〇―一

▽六・渡辺嘉男

▽渋谷区恵比寿三―一六―九森岡

▽荏 斎藤隆広

▽渋谷区東二―二三―一二

▽小森征夫

▽中野区江古田二―一―一五

▽錦織静之助

▽世田谷区弦巻一―一五―六

清水紀夫

▽横浜市港北区菊名町五九二―一

▽七・渡辺勝男

▽北多摩郡猪江町猪方三〇六一八

▽渡辺貞三

▽台東区池之端四―一六一―

分銅伴作

▽松戸市河原塚田二三 千葉哲也

(この項二頁から続く) 整備により、近時急速に沿線が宅地化し、土地整備が急がれており、昭和四十六年から調査にかかり、昭和四十八年から三カ年で事業の完成を図りたいと考えます。また、里下および笹尾地区については、工場団地の適地として、なお人口増加に伴う公園緑地の確保から運動公園を必然的に整備拡充しなければならない地区であるので、飽土地区および、羽黒前地区に引き続き実施したいと考えています。

これまで、区画整理事業の方法特徴と事業計画などをのべてまいりましたが大きな問題として関係土地所有者には土地の負担があります、負担をしてもそれ以上に利益をもたらすことでもあり、またこの事業の計画および決定にあたっては、納得のいく説明会などを聞き、関係土地所有者、権利者の納得と、全町民の意見をこの計画に反映させ将来の五城目町都市建設の基礎づくりをしたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

▽横浜市保土谷区仏向町二八〇

石郷岡心一

▽板橋区西台四一―六一―五

横倉千恵子

▽豊島区巢鴨一―三一―二二

浦井ケイ子

※町出身在京者名簿をつくりたいので、ハガキまたは電話で肉親、友人の氏名、住所、職業、電話番号などを次のいずれかにご連絡ください。

役員秘書室

直通電話三七―一一

太田区仲池上二丁目三ノ二二

原田広治(七五―)六二七六

ごみ収集日

家から出るごみ収集日は次のとおりです。
※ 釜修理のため(休み4月1日~4月6日)

町名	3月			
	1回	2回	3回	4回
希望ヶ丘	10	20	28	15
田今町	10	20	28	15
御蔵町	5	15	25	10
小池町	5	15	25	10
小川原	6	14	24	9
新番町	3	11	19 31	14
一番町	3	11	19 31	14
古川町	3	11	19 31	14
新畑町	7	17	27	12
矢場崎	7	17	27	12
紀久栄町	6	14	24	9
長仲町	9	18	26	11
米沢町	9	18	26	11
築地町	4	13	23	8
畑辰	4	13	23	8
昭雀	2	12	22	7
中川原	2	12	22	7
館原	2	12	22	7
岩城	2	12	22	7

※ 収集車の巡回について、次の事項にご協力下さい。

- 1、収集車が町内を巡回する前に各自ごみ容器を道路へ出しておくこと、また容器の近くに収集車の邪魔になるような物を置かないように
- 2、収集車が入って行けない小路に面している方は当日巡回道路まで容器を適当な場所へ持出して置いて下さい。
- 3、ゴミ容器には名前をつけて下さい。

◎ ごみ処理手数料4期分は3月31日です。

《水道課からのお願い》

これからまだまだ寒い日があります。水道管の凍結防止のために、不凍栓の使用をお忘れなく。

メートル器も取付け場所によっては、凍結破損しますので、一月から三月までの検針休止の間、保温保護にご協力下さい。

町に対するあなたのご意見を
お寄せください。

大川 中央公民館
ツ十日 B十二日
大川出張所

また翌翌日はツベルクリン反応の結果によって、陰性、疑陽性の方にのみBCG接種を行なうこととなります。すでに各家庭にチラシが届いていると思うが、準備の関係もあるので、事前に保健衛生課へ連絡くださればありがたいものです。

※時間は各地区とも午後一時三十分から二時までです。
ツはツベルクリン反応
BはBCG

総務課



船越先生

新しい通学路に慣れるまではた

安全通学への配慮を

富津内中 午前十一時三十分

富津内小 午前十一時

杉沢小 午前十時

大川中 十七日午前十時三十分

五一中 十四日午前九時三十分

五高 一日午前九時三十分

卒業式、入学式の日程は次のとおりです。

大川 幼同 午前十時

五城目幼四月六日午前十時

幼稚園入園式

馬場目小 午前十一時

内川小 午前十時

馬場目小 午前十一時

馬場目小 午前十時

馬場目小 午前十一時

富津内小 午前十一時

富津内小 午前十一時

大川小 午前十一時

杉沢中 午前十時

富津内中 午前十時

富津内中 午前十時

大川中 午後一時

五一中 午後一時

入学式 四月

五城目幼十六日午前九時三十分

大川 幼十四日午前十時

幼稚園修了式

内川小 午前十時

馬場目小 午前十時

馬場目小 午前十時

馬場目小 午前十時

五城目小十九日午前十時

結核の予防接種

このたび結核予防のため、ツベルクリン反応及びBCG接種をおこないますが、これは毎年一回接種しなければならぬことになっております。今年も次の日程によって実施します。生後六カ月以上く三才までの方は、ぜひ受けてくださるようお願いいたします。

なおお料金は無料ですが、人数も多いことですので、恐れ入りますが「スリッパ」をご持参願います

馬場目、杉沢 ツ二日 B四日
馬場目児童館
富津内、内川 ツ三日 五日
富津内児童館
五城目、馬川、面瀧
ツ九日 B十一日
中央公民館
ツ十日 B十二日
大川出張所

日程で行われます。

杉沢保育所十七日午前十時
馬場目保育所十八日午前十時
富津内保育所十九日午前十時
内川保育所二十日午前十時

もうすぐ一年生

……小学新入生保護者の心得……

健康なからだを
丈夫で元気に、休まずに学校に通えるからだが第一である。身体検査で指摘された疾病はもちろん常に不安に思っていることがあったら、この際、医師に相談して健康に自信を持つことが必要。偏食

や運動不足になりがちな子どもは特に家庭での配慮がほしい。
きまり正しい生活の習慣を
勉強を教え込む必要はない。それよりは、就寝や起床の時間、食事のしつけ、着衣脱衣、持物の整理、お手伝い、あいさつなど、きまり正しい生活の習慣を身につけることが家庭の役割である。根気のいることとはあるが、これができるにないし学校生活で難儀するし、勉強も身につかなくなる。

暮らしのノート
暮らしのノート
暮らしのノート



カメラ・ルポ

米の生産調整

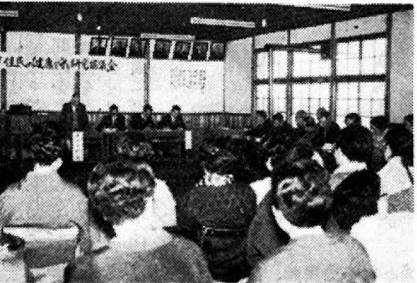


米の生産調整を話しあう
(米生産調整推進協議会)



自主的に学習する人びと(馬場目を語る会)
このところ3人よれば米の生産調整の話しあになる。
町でも部落座談会(2月24日~3月3日)をもうけ話しあいを続けている。また自主的に研修の場をつくり農政の学習にとりくんでいる姿が見られる。……

第1回住民の健康を守る研究協議会



2月21日午前1時30分から、第一会議室で保健衛生の関係者が集り、健康を守る研究会を催した。
日頃関心のある、ごみ、し尿処理をはじめ野犬追放など全般にわたって話しあわれ大きな成果をあげた。

たばこは町内から

たばこは町内から……
おでかけまえにたしかめましょう。

町づくりのアンケート調査報告の内容を見ますと、基盤整備(道路、都市計画)がトップで三三、二〇%、二位は産業開発(工場誘致、土地基盤整備)一四、四五%、三位社会開発(し尿処理場、中央保育所)一二、七六%のあと行財政部門、教育文化とつづいています。また不明が三一、九〇%もあったことは今後の大きな課題といえそうです。これを事業順位にみますと下のとおりです。

アンケートによる事業順位

No.	部門別	事業名	指数
1	基盤整備	道路整備	1.919
2	産業開発	工場誘致	749
3	基盤整備	都市計画	627
4	〃	交通安全対策	488
5	産業開発	土地基盤整備	482
6	社会開発	し尿処理場	372
7	行財政	減税	337
8	社会開発	中央保育所	231
9	基盤整備	橋梁整備	199
10	社会開発	ごみ処理場	191
11	〃	公社下水道	178
12	〃	協同水道	150
13	産業開発	林道整備	118
14	教育文化	中央公民館	112
15	〃	町民ホール	84
16	行財政	役場庁舎	80
17	教育文化	図書館	75
18	社会開発	住宅地造成	55

町づくりアンケート 道路整備 工場誘致 都市計画が 圧倒的

企画管理室では昨年十二月二十三日から一月六日まで実施した往復ハガキによる「町づくりのアンケート」の調査報告をこのほど発表した。
これによると発送部数三八五〇世帯で回答部数は七六八世帯で回収率は二〇、一九%でよい回収率とはいえないようです。年末年始という忙しいことも原因と思われませんが、町づくりには積極的に参加しましょう。

馬川小本館全焼 事後対策について協議

二月二十八日午前一時すぎ馬川小学校給食室から出火した火災は火のまわりが早く必死の消火活動もむなしく本館を全焼した。
午前八時三十分臨時教育委員会午後一時からは議会全員協議会を開催、教委で決めた①五小の六教室を使用、二日から平常授業をする。②二十日の卒業式は焼け残った体育館で行なうことを了承した。

1日~31日

年末町税完納強調月間

年度末町税完納月間と定め、未納町では、一日から三十一日まで

いろいろな事業もおくれることになり、住よい町づくりは完納から……でありますので、まだ未納の税金のあるかたは、早く納めてください。

昭和四十四年度もあと三〇日となり、納税の納入成績は全県七十二市町村の内、六十四番目という悪い成績であります。全部の税金の納期は昨年十二月二十五日で終っており、納入率は八〇パーセントとなっております。未納税金も二〇パーセントもあって、町財政を圧迫している。

整理を強力にすすめることにしました。この期間中、納税の意志のないかたに、納付誓約しているが守らないかたに付すは、財産差し押え、公売に付すなど強制執行します。このようにならないよう未納のかたは早急に納めてください。
なお納税についていろいろご相談のあるかたは税務課へおいでください。又、国民年金保険料、水道料、住宅使用料、ごみ処理手数料についても、この期間中、税金と同じ方法で完納運動をすすめますので忘れずに納めてください。

五城目町文庫(中央公民館)をご利用ください。
川にごみをすてないでください。
保健衛生課
広報を知人におくりましょう
総務課

生活要求から生まれた

自主的な活動

1 多彩な社会教育のうごき(2) 1

◎ スポーツ少年団

若芽のようにのびていくスポーツ少年団員一五三人は毎週一回剣道、卓球、ゲームなどの種目を中心に寒さにもめげず活動をつけています。

剣道スポーツ少年団は寒げいの特別訓練や、日常のトレーニングをおこない、卓球スポーツ少年団は卓球の基本技のほか、ボール競技や、スキーなど巾広いトレーニングをおこないながらスポーツ少年団員は今、未来にむかって明るくのびのびと団体活動をつけています。

◎ 婦人スポーツクラブ

主婦の体力づくり

スポーツやレクリエーションに親しみながら、健康増進と明るく人間関係をつくりましょうということを合言葉に主婦たちの自主的なスポーツクラブが熱心に活動しております。

月二回くらい集まって、バレエボール、美容体操、パトミニント卓球、民踊などをおこなっています。

いそがしい毎日のなかから、時間をつくって叫民ホールにかけつけ、たのしいひとときを過しておられます。

今年はお子ビクニックや、スポーツテニスなども予定しており、



たのしい語りあい

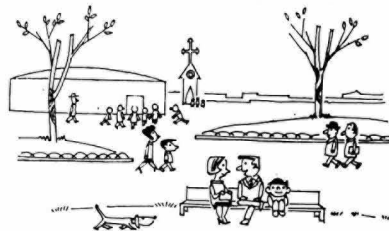
その活動ぶりは県内から注目されています。

◎ 生活学校

ごみ・し尿処理問題ととりくむ

生活学校というのは毎日のくらしの中で生れた疑問や、困っていることなどを具体的に話しあっているみんなの力で解決をはかり、お互いのくらしをよくしていくこととするものです。

森山生活学校、五城目中央生活学校ではごみ・し尿の処理の問題をテーマにして、それらの状況を調査しながら、「対話集会」をくりかえしおこなって、町や業者に対して改善の方向につ



人間的交流の場となる公民館、公園……

いて要望をおこなっております。そのほか危険な食品の追放

◎ 文化財を保護する会

民俗資料を調査

この会では庶民の生活のうつりかわりを理解するために欠くことのできない衣食住、生業、信仰、年中行事などに関する風俗慣習およびこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件について調査をすすめています。

さしあたっては古くからおこなわれてきた生産生業について調査をおこなう予定です。

染物、醸造、木びき、交易、指物、大工、食品、かや屋根ふき、養蚕、木こ、紙すき、漁労、イタヤ細工、薬粗工、などを中心に調査し、それらの保存について対策をたてる活動がおこなわれます

五城目町の100年

17

マツチ箱誕生 (その二)

小野 一 二

軌道、工事がおわり開通するまで会社は、五城目・一日市間を一日四往復、六人乗り自動車走らせるところをきめた。今日、バス会社となった「中央交通」の前身である「五城目軌道」の最初の仕事が行われている。

現在の様相を予言しているのは、まことに興味深いものがある。自動車の発着所は小池町にあり運賃は片道五十銭であった。その頃の人力車は町から一日市まで昼

間五十銭、夜間六十銭であったが自動車と競争しなければならなくなったために、昼間四十銭、夜間五十銭に値下げした。

一日市に五城目駅(後に一日市駅と改称)が開業して約二十年、利用者が年毎に増加している。当時の状態は、次のようになる。

一 一月の乗客約七六五〇人
一 降客約七五五〇人
一 一日平均約五〇〇人、その半分

以上は町へ往来する人である。

大正九年度の輸出入貨物

輸出 約一二九七〇屯
輸入 約七〇〇〇屯
貨物の大半も町の製材業関係のものである。

こうした数値から見ても、軌道の運行は十分事業としてなり立つものだった。十年(一九二二)七月四日に工事が始まり、駅・社屋待合所・倉庫などが完成したのは十一月三十日である。場所は鶴ノ木三四番地(現在地)である

四月十七日にはガソリン機関車二両・客車二両行が貨車一両無がい貨車三両が到着している。機関車はアメリカ製の森林軌道用

のもので、わが国最初のガソリン車といわれている。見た人はその小さいのに驚いた。この機関車は昭和十三年頃まで駅構内に保存されていて、たまに稼働している。駅は「東五城目」と命名され、初代駅長戸沢秀雄、従業員十二名である。四月二日に営業開始、運賃十九銭、所要時間二〇分(時速にして約十二km)七往復である。運賃は日本一高いといわれたが、この名譽ある記録は軌道のおわりまで続いたようである。

しかし町の人々は、自分たちの新しい足としてこれを利用し、本線に乗りついで。また中には、軌道運賃を節約するために本線駅まで歩きおした人もあった。軌道開通によって、町の子弟が秋田市の中等学校に通学可能となり、進学するものが多くなった点も、あまり目につかないが大きな変化であったし、本線とつながったという町民の意識に積極的な変化をもたらしたことも見のがしてはならない。これは大正末の町の発展の土台となっている。町民は自分たちの足を「マツチ箱」という愛称でよんだ。このことには古い人々の夢のような想い出につながる。十五年三月一日、蒸気機関車にかわる。昭和二年一月一日、五城目駅と改称。本線五城目駅が一日市駅と前年改称されたためである。